

新基地建設反対名護共同センター ニュース

ジュゴンの住む辺野古の海で「海のおまつり」

平和を世界と繋がる水平線へ

六月二八日「海のおまつり」が開催された。(ヘリ基地反対協海上行動チーム主催)カヌー十七艇、船六隻、約五〇名が大浦湾の工事現場前の海上に集い、この海と生きものたちへ思いをはせました。瀬嵩の浜にも六名の参加がありました。

通り雨が去って快晴。金井船長の慰霊のことばと鐘でおまつりが始まった。大阪出身、名護在住のShihoさんはギターを爪弾きながら、「中国と日本の間には何があろう?海がある...海の中には魚がいて...」と歌いだした。

「臨時制限区域内へ入らないでください」というアナウンスを止めない警備艇に「海は海のものですよ」と一言。オリジナル曲の「フエンス」そして「平和の琉歌」「月桃」を語るように歌いあげた。カヌーチームからは、この海への愛と感謝、そして海が壊され続けていることへの葛藤や悲しみが語られ、尹東柱の詩の朗読、それに続き、在日コリアン三世のメンバーが「私たちの愛で暗い所へ手を延ばし明かりを与えよう...韓国「ひまわり」という歌を歌った。北谷町出身のジャズシンガーの儀保貴子さんは、サンゴを想い作った「Corals」、そして、分断を乗り越える...みんなが思う目標(例えば平和)は同じだから一緒にいこうよ、君と僕は(意見など)ちがっても大したことじゃないよ、地球はひとつだよ...「虹の果て」という歌を届けました。船やカヌーから虹の旗が揺れた。

海上行動チームはそれぞれの想いを胸に、また志なかなばで旅立った仲間たちの想いの分もこれからも海で闘って行く。
(海上行動チーム・牧瀬茜)



日米核戦略の最前線核疑惑 「辺野古新弾薬庫」を米軍に提供

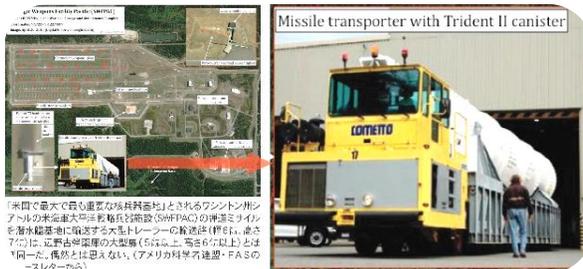
防衛省沖縄防衛局は、辺野古弾薬庫での「再編・拡張」計画について、完成した新弾薬庫(4棟)の米軍への提供を「すべての手続きを完了、米軍は運用を開始」と明かした。4月初めの取材。

新弾薬庫は、普天間基地の「移設」を理由に41棟のうち13棟を解体し、「遮へい壁と武器組み立て区域を含む12の新弾薬庫に建て替え」。

国防総省の核兵器マニュアルなどの公開資料、防衛省、海兵隊司令部への独自取材で「核貯蔵庫」疑惑が強まっている(写真)。経費は全て日本負担だ。海兵隊文書には核の文字はない。だが防

衛省の入札資料の「電動扉 高さ6m以上 幅5m以上」の文字は米国の大規模核貯蔵庫(ワシントン州シアトル)に同サイズの施設。地下式核貯蔵庫から、隣接する戦略原潜基地に核弾道ミサイルを届ける大型トレーラーの専用通路だ。(写真)

辺野古新基地には長さ220mの岸壁を計画。新弾薬庫の大型扉が開き、核



「米軍で最大規模の核兵器貯蔵庫」とされるワシントン州シアトルの米海軍基地に核兵器貯蔵庫(5000坪)の増設と、核兵器貯蔵庫に届ける大型トレーラーの専用通路(幅5m以上、高さ6m以上)と、辺野古新基地の大型扉(幅5m以上、高さ6m以上)とを同一視し、後者は思えない。(アメリカ科学者連盟・FASのウェブサイトから)

ミサイルを積んだトレーラーが岸壁に向かうシーンは「恐怖」だ。核疑惑弾薬庫の運用開始を境にした非核三原則無力化。「日本への核持ち込み日米連携プレー」が眼を引く。

3月24日、非核証明の提出が必要な「非核神戸方式」の神戸港で、米海軍が同書類の未提出のまま掃海艦を寄港させた。6月2日には笹川財団(創設者は元CIA 協力者)が非核三原則の「持ち込ませず」を削除し、米核兵器の持ち込みと共有の推進を記者会見。

山本 眞直 (ジャーナリスト)

憲法の研究者から実践家へオール沖縄「タカラさちか」総決起大会

「生きる」を政治の真ん中に!

六月二八日(土)午後二時から七月二〇日投票の参院選沖縄選挙区に出馬予定の「オール沖縄」勢力が推す無所属新人で沖縄大学教授の高良沙哉(タカラさちか)氏(四六)の総決起大会が豊見城市の沖縄空手会館で開催された。

高良さんは、低い県民所得や物価高といった課題の解決が必要だとし、「生活者が後回しにされない政治を実現する」と語った。

最も訴えたい事として、「日米地位協定の抜本的な改定」を強調。米軍人らによる性暴力や凶悪犯罪がやまない現状に、「いつまで理不尽な環境に生きていかなければいけないのか」と問題視し、国内法を「基地の中に適用していく。主権国家として当然の要求だ」と語った。

激励に駆けつけた玉城デニー知事は、「生きる」ということを本当に政治が大事にしているかが問われている。高良さんが沖縄から国会に飛び込む必要がある」と訴えた。

高良さんは、選挙戦の中で、手取り十一万円増える消費税減税、産業振興に公共交通整備、辺野古新基地反対、歴史の歪曲を許さない西田発言に抗議、ジェンダー平等で選択的夫婦別姓制度の実現、裏金政治にサヨナラして嘘のない真つ直ぐな政治の実現を力強く訴えました。

